



トムトム通信

設立10周年記念式典を終えて

トムトムの理念を地域に種まきしてきた10年・・・



季冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトムが、平成11年7月に事業を茅ヶ崎市から開始して10年を迎え、9月13日に茅ヶ崎市役所分庁舎6階にて設立10周年記念式典を行いました。式には100名以上の方々にお集まりいただき、大盛況に終えることができました。この場をかりて、御礼申し上げます。

10周年の足跡を少しお話をさせていただきます。10年前に茅ヶ崎市にあるつつじ学園という障がい児通園施設で知り合ったお母さん達同士で、ドーナツの会という親の会を結成しました。そのころ、障がい児に対する放課後や長期休暇（夏休み中）のサポートが何もない時代でした。障がいをもつがゆえに、学校以外の時間は主に母親とずっと一緒に過ごすしかない毎日でした。子どもを預ける場所はなく、他のきょうだい児の授業参観も行けない時代でした。そんな理不尽な心豊かではない子ども達の暮らしから脱するべく、親としても気兼ねなく子どもを託せる場としてサマースクールを開催し、周囲の理解ある支援者とともにトムトムはここ茅ヶ崎の萩園にて産声を上げました。のちに平成13年には法人格を取得し、主に子どもたちへの日中支援を行ってきました。平成15年には、支援費制度が始まりヘルパー事業所としての法的な事業も開始し、平成17年には平塚市に事業所を開設。翌年には自立支援法が始まり、制度がめまぐるしく変わる中での事業展開をして参りました。

制度改正とともに、市町村単位での拠点で過ごす支援方法として「ゆうゆうクラブ」「あいあいクラブ」「ゴロゴロクラブ」を開設し、10年経った今、その当時小学生だった子供たちも成人式を迎えるようになりました。トムトムの事業内容も「子供の支援から大人になった支援」「個々の支援から小集団な支援」と支援の方法も少しずつ変わり、今年4月より平塚で成人事業「えぼっくハウス」を開始しました。

この10年のトムトムのあゆみは、「1人ひとりがくらしのなかで きらきら光っている」そして、「障がい児者とそのご家族へ小さなお手伝いをさせて頂く」というトムトムの理念を地域に種まきしてきた10年だと思っています。この10年の間に職員は100名を超えました。拠点も茅ヶ崎2箇所・平塚3箇所となりました。

組織運営の厳しさを痛感した時期も多々ありましたが、その都度ご利用者をはじめご家族の方、トム応援団や関係者の皆様に支えられ、事業を継続して参りました。

設立以来利用者の皆様をはじめ、支援していただいた地域の方々と共に10周年を迎えることが出来ましたことを心から喜び合い、更に一層理事・職員一同努力し、皆様と共に力強く歩み続けていきたいと思っております。最後に、皆様のご健勝とご発展を祈念するとともに、今後も当法人に対してご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 伊藤久美子

今年の夏は暑かった

ゆうゆうクラブ

地域生活支援事業 平塚市タイムケア事業(中・高校生<13~18才>対象)



ゆうゆうクラブ夏休み活動について

夏休み前の学校の短縮期間から、毎日25人~30人のお子さんがゆうゆうクラブにいられました。今年の夏もかなりの暑さでしたが、ゆうゆうクラブでも毎日クーラーをかけ、快適にゆうゆうクラブで過ごして頂くよう心掛けました。中には集団の中にいることが苦痛に感じてしまい、車の中で過ごされるお子さんもいました。そして、お子さんたちが楽しみにしている事の一つにおやつがあります。買い物にお出かけし、いろんな種類の中から好きなアイスクリームを選び、お子さんたちからも好評のようでした。ゆうゆうクラブの活動で忘れてはいけないのがプール活動。毎週2回のペースで実施してきました。普段はおとなしいお子さんがプールに入った途端、大喜びではしゃいでいて、いつもとは違った一面を見せてくれました。お子さんたちが喜んでる姿を見ると、来年も続けていきたいと感じました。又スタッフのみなさんも、長時間にわたりお子さんに付き添ってもらいお疲れ様でした。/東

えぼっくハウス

国事業 生活介護(成人対象)



平塚市七夕祭りにて

4月からえぼっくハウスは、新しい場所へと移り、新しい仲間も増えました。あっという間に半年が経ち、今ではみんな新しい場所にも慣れ、自分の場所を見つけ、毎日元気に活動しています。えぼっくの夏の活動という・・・作業は、外での活動を控え、室内での作業を中心に行いました。毎日お出かけもしつつ、イベントもいくつか行ってきました。プールや七夕や地域のお祭りに行ったり、一人一人がおこづかいを持ち、少し遠くまでお買い物に行ったり、夏らしくひまわり畑にも行ってきました。お出かけ大好きなみんなは、暑いなんてなんのその、大はしゃぎで楽しんでいました。/鈴木

あいあいクラブ

国事業 児童デイサービス(児童対象)



茅ヶ崎養護学校プール

夏休み期間中あいあいクラブでは、とにかく遊びました。午前中はあいあい庭園にプールを出し水遊びをし、午後は子ども家・寒川水道記念館・厚木防災センターなどへお出かけです。プールでは水をかけあったり、水鉄砲やスタッフの作ったペットボトルのオモチャで、それぞれが工夫をしながら楽しんでいました。防災センターでは地震体験・強風体験・煙ハウス体験などもでき、いい経験になったのではないのでしょうか。今年の夏は暑すぎたので公園にはなかなか行けず、なるべく室内で過ごせる場所での遊びです。それでも子どもたちは、汗をいっぱいかきながら元気に遊んでいました。/眞壁

ゴロゴロクラブ

地域生活支援事業 茅ヶ崎市日中一時支援事業(児童・成人対象)



さあ、夏休みだ！おでかけ！と思いきや・・・類をみない酷暑に、利用者さんもスタッフも『だるいゴロゴロクラブうへん』になりそうな日々でした。それでも、今年もやりました。みんなおまかかねビニールプール、軒先の日よけには夏の風物詩すだれ、目隠しすだれ。朝一からスタッフが交替で、水を溜め水温を見、頃合いをみて、利用者さんの着替えー水しぶき一次はどなた？・・・の繰り返しを午前と午後。その間、室内では『UNO』で白熱？ゲームのルールが難しかったりして、悲喜交々。二人が入れば満員のビニールプール、UNOで負けて悔しがったり。でも、どちらも『順番ね』と譲り合うこと・・・などなど。他にも何か得るものがあったことでしょう。/五十嵐

トムトム

国事業:居宅介護・行動援護・重度訪問介護/地域生活支援事業:移動支援(児童・成人対象)・育児支援家庭訪問

なんと言っても夏の猛暑には参りました。ヘルパーとお出掛けする利用者さんには毎日のように「炎天下を歩かないように」とか「帽子をかぶりましょう」と言っていました。おかげ様で熱中症もなく皆さん元気に夏を乗り越えていただいたようです。茅ヶ崎支部のヘルパーは高齢化の傾向もあり、稼働できるヘルパーが減ってきています。このため、新規に利用を希望される方もお受けできず、また今までの利用者さんでもご希望通りお受けできずご迷惑をおかけすることが増えています。今後もヘルパーの増員が期待できないことから、ご利用回数やご利用時間について見直しをさせて頂きたいと思っています。少々暗い話になってしまいましたが、できるだけ皆様のご要望にお応えできるように今後も頑張っていきたいと思います。やっと良い気候になったかと思ったらあつとあつと言間に冬に突入してしまいました。今度は風邪・インフルエンザやノロウイルスに負けずに元気にお出掛けしましょう。/菊沖

ぶんぶん

国事業:居宅介護・行動援護・重度訪問介護/地域生活支援事業:移動支援(児童・成人対象)



今年も'激動の夏'になるのかなーと、夏休みに入る前までは去年の夏に倣って、すっかりそんな気分(覚悟?)でいました。・・・が、意外なことに今夏の移動支援の利用は、今年の猛暑に反してやや冷え込んでしまいました。猛暑のせい外出を控えるとの要望が増えてしまったようです。さらに8月中旬頃にはダメ押しのようにエアコンが故障してしまい、扇風機で過ごすハメに(ほんと暑かった)。しかもこのエアコン9月に入って少しすると自然とスイッチが入るようになってるし・・・。「業者の人は修理の必要があるって言ってたのに・・・(泣)」とは言っても、やはり夏ならではの海や人気のあるプール施設に出かけたり、コンサートを見に行ったりと、長期休暇も相まって'遠出'ができるという移動支援の持ち味が活きる時期なのは変わりありませんでした。集団生活を送る利用者さんがほとんどの中で、自分の好きな事をしたり、好きな場所に出かけた際に、楽しそうに過ごす表情や、今までに見たことのない仕草が見られることがあります。そんな発見に気づけると暑さなんて忘れてしまうほど、嬉しくなってしまいます。又、今年度に入ってから、ぶんぶんのヘルパーさんの定着具合がとても良く、岩崎の負担を肩代わりしてくれています。おかげさまで去年の夏休みに比べ、余裕を持って支援に入ることができました。ひとくせ(ウ/で)もふたくせ(笑)もあるヘルパーさん達ばかり？ですが、ぶんぶんでも働いてくれていることを感謝しています。終わってみれば充実できた夏休みだったのかなーってそんな風に感じました。・・・来年も夏を迎えることができたら、「エアコンは故障しませんように・・・」 /岩崎

講師 村岡真治氏「障害のある子どもが育つ 各方の文化の創造」



2010年11月13日(土)、トムトムが全職員対象、全体職員研修会を行いました。講師に村岡真治さんを招いて、障がいのある子ども達への関わりについて、村岡さんの実践に基づきながら、お話しいただきました。村岡さんは東京で障がいのある子どもの放課後支援として「ゆうやけ子どもクラブ」の代表、保障全国連絡会の事務局長をされています。トムトムでは、職員が100名以上の大所帯になってからの全体研修は初めての試みでした。20年以上、実践で村岡さんが感じて学んできた話を聞いたことで、職員達もこの仕事に対しての意識向上に繋がりを、良い研修となりました。

【著者：村岡真治氏】本を出版しています。おすすめです！「ゆうやけて輝く子どもたち」全障研出版部 ¥1,500

全体職員研修 職員からの感想紹介・・・



- ・他の部門の人と会ったり、講習や本を通して他の法人事業所の方々の考えや経験に触れるのは、とても有益だと思いました。こういう機会を持つとともに、自分が所属する部門内での情報の共有も深めるべきだと改めて思いました。
- ・村岡さんがこのお仕事長く続けてこられた「こつ」を少しでも理解出来る様になりたいと思います。できたら「ゆうやけ子どもクラブ」を実際に見学したいです。
- ・村岡さんのお話しの中では、同様の活動をしているゴロゴロでも参考にすべき事が多々あった様に思います。利用者さんたちが安心して過ごしやすい環境整備、それを行う為の共有等、大切なのではないかと感じています。
- ・今回の研修会で法人アドバイザー和田氏の問題提起はトムトムが事業体として新たな時期に入ったとの感を深めました。障がい児およびその家族の支援を目的に関係者の熱意、奉仕、献身、などに依存して運営されてきた時期から、これから先地域社会の基本的機構として運営されるための事業体に変化するためには、その経営者(理事会)職員(常勤、非常勤を問わず)が労働時間、報酬など種々の面で正常化されることが重要でしょう。そうなるこそ、熱意、奉仕、献身がほんとうに生きてくると感じます。トムトム20周年記念のときにはトムトムが特別な福祉施設ではなく、ごく当たり前の地域社会の一機構になっていることを切に願います。
- ・今のゴロゴロクラブは、体制を作り直すタイミングで逆に言えばいろいろな可能性も持っていると感じました。「預かり」のスタンスで放課後支援をしながら、幼い頃から出会えたメリットを生かし、その人の卒業後も継続して関わっていくことも、できればとも思う。事業目的や職員の働きやすさは勿論考慮しなくてはならないが、やはり「主体はご本人(とご家族)であり、希望する必要としていることは何か」ということに、あくまでも焦点を合わせていく姿勢は変えたくないと感じている。
- ・今回の全体研修という機会はとてもいい事だと思いました。素直に参加して良かったです。普段、この仕事をして感じる事は純粋に楽しいです。大変な事や困った事もたまにはありますが、楽な仕事は無いと思うので、それをひっくり返して、やりがいのある仕事だと思えます。
- ・現場で実働しているスタッフ(特に非常勤さん)の何気ない声を吸い上げ、働きやすい雰囲気を作りたい。ゴ

ロゴロは、今、男手が居ないので増員してください。

- ・この12月でトムトムのお仕事を始めて丸9年になります。知り合いの方から「人が足りないのでは、お手伝いしてもらえませんか?」と言われて「お手伝いになるかしら?」と思いつつ、お話しだけでも聞いてみようとお話してみた日から居心地が良くて今日に至ります。いろいろな方との出会いに支えられて、失敗ばかりの日々ですが…物事を深く考えない性格のためか、なんとか続けてこれています。だんだん体力的に厳しくなってきましたが、利用者さんやそのご家族の方から元気をもらってがんばりすぎないで、続けていきたいと思っています。
- ・ゆうやけ子どもクラブの環境や職員の配置等、大変恵まれているようで学ぶべき事があると思う。私自身3年目に入り、やっと子どもたちとも慣れてきましたが、受け入れられているかは分からないけど、日々変化があり、かわいい笑顔にいやされています。
- ・年に一度くらいは、全体的な集会は行って欲しい。私自身平塚支部の方を1人だけ入った時に逢い、居るのかなと想いながらも尋ねる事もなかったけど、今回稼働されて逢う事が出来懐かしく話が出来ました。
- ・移動支援をしているとなかなか皆様と逢う機会がないのと色々お話しが聞けるので良かったと思います。
- ・もっと利用する子ども達の情報が欲しい。接し方や状態など最初は分からないことが多く苦労する。ヘルパーの教育、研修の様な事してほしい。(どうしていいかわからない事がある。マニュアルがない事は分かるが、接し方の方向性がわかると行動しやすい)
- ・トムトムが未来永劫存続してもらうための勤務体系変更やスタッフの定着化に向けた賃金体系の変更など積極的に進めて頂きたいと思えます。微力ながら、今後もお手伝いさせていただきます。
- ・5年継続者の紹介がありましたが、10周年を迎えたり人数が少なかったような…。トムトムだけに限ったことではありませんが、福祉職を続けることがどれだけ大変かということを変えて感じました。今回の非常勤職員体制の見直しをすることで、少しでも皆が働きやすい職場になると嬉しいです。
- ・自分の思いとずれ違いを感じる時があります。小学生であるはずが、赤ちゃんのような子どもの接し方に出会うと残念な気持ちになります。みんな小学生。赤ちゃんではないのにと感じます。
- ・障がいって難しい…。子どもって難しい…。対人関係って難しい…。だからおもしろいのかな?
- ・今回の全体研修にてトムトムの今までの歴史が分かり、また茅ヶ崎のゴロゴロ、あいいの職員さんとの交流が取れて大変良かったと思えます。
- ・まだまだ不慣れなので、今、目の前の仕事をこなしていくのでいっぱいです。研修と云うのも初めて参加し、講演を聞くこともなかったのですが、とても自分の中では勉強となりました。
- ・4月末入職前のボランティアでえぼくくの利用者さんにお会いした時から、みんなの笑顔の虜になりました。これからも微力ながらお手伝いさせていただきたいと思えます。
- ・同じ障がいをもつ子でも、一人一人違う個性があるので、その個性を大事にして子ども達と触れ合うことができれば理想かな…と日々感じています。この仕事は、いろいろな面で奥が深い仕事だということを感じます。子ども、親御さんたちが安心して、そして何より子ども達が笑顔でいられるような場所であり続けることを望みます。
- ・この仕事では、マニュアル化できないところに子ども達の対応の難しさがあり、自分の創造性や応用力が試される。決して答えが決まらない子ども達の行動に柔軟な対応力が必要だと感じ、これからもやりがいをもって楽しく仕事に励みたいとおもいました。
- ・障がいがあっても心は通じるので、ケガのないように、その人その方のふれあいができるようにトムトムに来て良かった。作業が楽しい雰囲気築き上げて行けたらと思います。
- ・私は、えぼくくさんに入ってまもないのですが、利用者様から学ばせてもらっている事が多く、今回の研修での先生の言葉の中でのマニュアル化できない人間の心理のおもしろさ、そして「どうしてそういう行動をするのか?」という追求する事の楽しさ、そして、結果論としていっつか理解できそうな期待感とがまざりあい、とてもやりがいのある職場だな…。このような職場で働かせていただけてとても嬉しいな…。という気持ちでいっぱいです。
- ・子ども達と全身、全力で遊ぶにも子どもたちのことがわからないと難しいと思います。もう一度、初心の気持ちを持ち、周囲のスタッフと協力しながら子どもたち一人一人に良い対応ができるようになっていきたいと思います。
- ・村岡さんは、とても忙しい中、たった10分でもみんなと話し合いをした。と言っていたのがとても印象的でした。私達も、子ども達が過ごしやすい、少しでも良い環境を整える為、話し合いを大切にしたいと思えました。



リレートーク



茅ヶ崎市在住

我が家のエンジェル♪美咲

早乙女 実佳

現在、茅ヶ崎養護学校に通う娘の美咲は中学1年生。ちょっと久しぶりに会う方には必ずと言っていい程「また大きくなったね～」と言われますが（笑）、まだ身長は142cm程で、母である私は抜かれていません。ただ、座り込まれたり抵抗されると母の力では対抗できなくなりつつあります(;-)

そんな美咲は、平成9年4月16日に待望の第一子として我が家にやってきました。大きな目をギョロっとさせミニラそっくりのかわいい（！？）赤ちゃんでした。あまり泣かずおとなしく手のかからない赤ちゃんで、唯一大変なのはミルクを飲むのがとっても下手で時間がかかったことくらい。よくむせて鼻からミルクを出していました。月齢が進むにつれて成長の遅れが目立つようになってきましたが、年子で弟が生まれてからも、やさもちは焼かないし動かないし（正確には動けないですが・・・）で、年子を育てる大変さは味合わず反って楽をさせてもらいました。

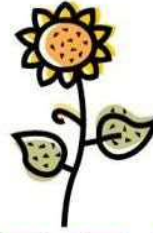
2才半の時に染色体検査の結果のアンジェルマン症候群（15番染色体一部欠失）であると診断されました。医師から「重度の知的障害と発達遅滞」と説明を受けてもピンときませんでしたが、「言葉はほとんど出ず、出ても数語」との話には障害の重さを感じショックを受けました。でも、それまで何がいけなかったのだろう・・・私の育て方？などと原因探しをしていた部分では、診断されてホッとした気持ちも大きくありました。で、言葉はというと、数語どころか13才になっても喃語の域を決して超えず・・・「あぎゃん♪あぎゃん♪」が得意です。

アンジェルマン症候群は、ぎこちない不均衡な動きやよく笑うなどの特徴から『ハッピーパペット』とも呼ばれ、その名の通り美咲も小さい頃から笑顔だけが取り柄のフレンドリーな子で、多くの先生やお友達&お母さんに恵まれ、楽しい経験をいっぱいしながらここまで大きく成長してきました。

あいあいにお世話になり始めたのは小学3年の時。シール貼りや製作、夏には大好きなプール遊びもあり、ただ預かってもらえるだけでもありがたいのに、いろいろな体験もさせていただき美咲もとても楽しんでいて、学校以外に居場所があり仲間がいることを大変嬉しく感じています。中学生になった今年の春からはゴロゴロにもお世話になり、ちょっと大人な放課後の過ごし方を学んでいるような気がします。やさしいスタッフのみなさんにたくさんお手数をお掛けしていることと思いますが、これからもどうぞよろしくお願い致します！！

危ない汚いもわからず、探索遊び大好きで散らかしや、かかと落しは凶器で困ったことはいっぱいあるけど、美咲の存在は私の癒しでもあり、美咲がいることでいろいろながりを得られ、たくさんの事を学んでこられたと感じます。これからも我が家のエンジェルと一緒に笑顔で進んでいきたいと思います。

最後に私のささやかな夢を・・・息子たちの手が離れたら、美咲とのんびり女二人旅をすることなんです。いつかできるといいな♪



リレートーク



茅ヶ崎市在住

こんにちは！高橋大河の母です。大河は特別支援学級に通う小学1年生です。4歳の時、「広汎性発達障がい」と診断されました。その時初めて「そんなに他の子と違うの？」と気付かれました。10ヶ月で歩き、話すのも、オムツが外れたのもそれほど遅くなく、よく笑う子だったので、「うちは障がいとは無関係」と思っており、発達障がいについてほとんど知識がなく、驚きと動揺でいっぱいでした。

診断されてからもなかなかそれを受け入れることが出来ず、大河のこだわりの強さや、協調性の無さ、パニックになって泣き喚くといった行動が理解できず、イライラして「どうして出来ないの？みんなちゃんと出来てるのに！」「いいかげんにして！」と叱りつける毎日でした。保育園の運動会や発表会の練習などは一番嫌いで、「ぼくやらない～」と言って一人で違うことをして遊んでいました。まわりのみんなが文字を覚える頃になっても、全く興味を示さずだったので、私としては「なんでみんなと違うの？なんで同じようにできないの？」と不安と悲しみと怒りで、その頃は本当につらい心理状態でした。そんな中でも大河を取り囲む人々は誰もみな理解を持って接してくれていたもので、とても救われました。

大河の父は私と対照的にひたすら穏やかな人で、いつも大河の見方になってくれます（甘やかすすぎ！）。祖父母達も心配しつつもちゃんと「発達障害」を理解し受入れてくれています。保育園では、楽しく園生活に参加できるように配慮をもらったおかげで、年長の運動会と発表会と卒園式はなんとかみんなと参加でき、感動でした（涙）。

最近DSに夢中で攻略本を必死に読んでいます。4歳年下の妹と一緒に遊んで面倒もよく見てくれます。想像の世界やファンタジーに興味があり、会話に頻繁に「幻の力、こびと等」登場し面白いです。あいあいでもよく話していると思いますがつき合ってください。以前は、他の子と比べてしまい出来ないことばかり気にしていましたが、今は大河のペースでしっかり成長していることを実感しています。

保育園の頃には想像もつかないくらい、たくましく（生意気に）なりました！普通だったら感動も喜びもなく過ぎて行くことでも、大河の場合は「出来た」「うまくいった」ということがとても実感できて嬉しいです。これからもいろいろな場面で大変な思いをしますが気負わず乗り切っていきたいと思っております！よろしくお願いします。



おねがい・・・



譲って下さい！

トムトムでは、普通車（5人乗り以上）を探しています。もしお譲り頂ける方がいましたら、詳しくは直接相談させていただきたいと思っております。まずは本部までお電話ください。よろしくお祈りいたします！



問い合わせ先：0463-37-2012（本部：加藤）

…… ↓ 全支部一斉休業します ↓ ……

12月29日(水)～1月3日(月)(冬期休暇)

上記期間中のご用件は留守番電話対応となり、1月4日(火)のご連絡となりますのでご了承ください。

ご支援ありがとうございます！

2010年7月～11月現在



- ◆個人◆ 37名の方より賛助会員費、寄附金、寄附品をいただきました。
- ◆団体◆ NPO法 あいむ湘南様／(社福)翔の会様／(社福)湘南の凧様／NPO法人 茅ヶ崎手をつなぐ育成会様／NPO法人 にりん草様／(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会様／NPO法人ワーカーズ様／NPO法人 明星様／NPO法人 精神保健福祉連絡会様／財団法人 光之村様／トムトム応援団様

賛助会員を募集中です！

【個人・団体共に】年間1口：3,000円(何口でも結構です)

【郵便口座番号】00290-3-47042

【口座名義】特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム



ホームページもご覧ください。
<http://www.npo-tomtomo.com/>

特定非営利活動法人
パーソナルサービスセンタートムトム

神奈川県茅ヶ崎市萩園1602

電話 0463-37-2012

FAX 0463-37-2013

Email: houjin@npo-tomtomo.com